読書でビジネス力をアップする（第68回）

挑戦し続けることで脳を磨き家計をつくる術

2021.01.07



一生稼げる脳の作り方
KADOKAWA／長谷川嘉哉 著

脳を活性化する本です。定年に縛られず「年収500万円以上」稼ぐことで、脳も家計も健全に保つことができるといいます。そのために必要な心と体、そしてお金の作り方を具体的に教えてくれます。

著者は、認知症の専門医でありながら、フィナンシャル・プランナー（FP）の資格を持つ方です。そんなユニークな著者が、独自の視点から、生涯現役を勧めます。「働き続ければ、認知症が予防でき、さらに収入が得られるため、経済的にも安泰で下流老人化が避けられる」といいます。老後の仕事は「一挙両得」なのです。その具体的な方法を教えます。

最初にタイトルを見た時「ポジティブ思考なら、すべてが手に入る」式の自己啓発系の本と思いました。しかし、実際は全然違いました。医師による、医学知識に基づいた科学的な本でした。さらに、FP資格ホルダーだけあり、お金のノウハウも具体的かつ実践的です。本書では「世帯年収500万円」を稼ぐことをめざし、年金の受給額増と長く働く実践的なやり方を紹介します。

そんな、お金と健康の両方を維持するための具体的な方法を細かく教える、極めてまっとうで実践的な本です。まさに一生使える老後のガイダンスです。老後不安から「老後資金」の確保に走る人が多いようですが、むしろ「蓄える」より「働き続ける」ほうが大事というのが著者の主張です。そのための「脳」のメンテナンス法と稼ぎ方が詰まっています。

定年退職を控える「アラフィフ世代」はもちろん、健康とお金の両面で老後に不安を感じているすべてのビジネスパーソンに、一読をお勧めします。当たり前ですが「お金」は大事です。それを手にする上では「健康」も大事です。また「健康」を維持するためにもお金が必要です。まさにこの2つは「車の両輪」なのです。

働き続けるための準備を始めよう… 続きを読む